

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名：東京都建設局

事業の名称：調布都市計画道路3・2・6号

調布保谷線整備事業

実施都市名：東京都

事業目的

調布保谷線は多摩の南北幹線道路のひとつで、稲城市矢野口を起点とし、稲城・調布・三鷹・武蔵野・西東京の5市を經由し、西東京市北町までの延長約14.2kmにわたる都市計画道路です。

本路線を整備することにより、多摩地域の幹線道路ネットワークの形成や都市間相互の連携強化が図られます。

また、甲州街道や東八道路などの東西方向の幹線道路と接続することにより、南北方向の交通利便性が向上し、周辺交通の渋滞緩和が図られます。さらに、環境施設帯を整備することにより、より良い沿道環境の保全や防災性の向上にも寄与します。

整備を進めるにあたり、西東京区間、三鷹区間、調布区間、多摩川原橋及び関連道路区間の4区間に分け事業を実施しています。

事業概要

事業名：調布都市計画道路3・2・6号

調布保谷線整備事業

路線名：調布都市計画道路3・2・6号調布保谷線

事業箇所：東京都調布市富士見町三丁目～三鷹市野崎一丁目

事業延長：2,200m

幅員：36m(車道16m(4車線)、環境施設帯両側10m)

総事業費：約362億円

事業期間：平成11年度～平成20年度

調布区間延長2.2kmのうち約2kmを4車線開放したものである。

本路線については、通過車両による騒音・振動・排出ガスの影響を距離減衰の効果により軽減する等、沿道の生活環境を保全するために「環境施設帯」を設置した。そこで東京都では、この環境施設帯を整備するにあたり、新たな試みとして、住民参加型(ワークショップ方式：市民・地元市・東京都で構成)の「環境施設帯整備検討協議会」を開催し、地域住民の方々から広く意見を聞かせていただき、より地域の特性にあった道づくりを推進し、環境に配慮した道づくりに取り組んだ。

また、机上のみで議論を進めるだけでなく、現地に環境施設帯のモデルを設置するなどしながら、その都度検証を行い、地域住民と行政とが一体となった整備を進めてきた。

整備にあたっては、沿道環境の保全に一層の配慮を行うため、車道部で二層式低騒音舗装の実施、歩道部では歩行者が安全で快適に歩行できるよう、無電柱化やバリアフリー化の実施、ベンチの設置や既存樹木の保全を図った。

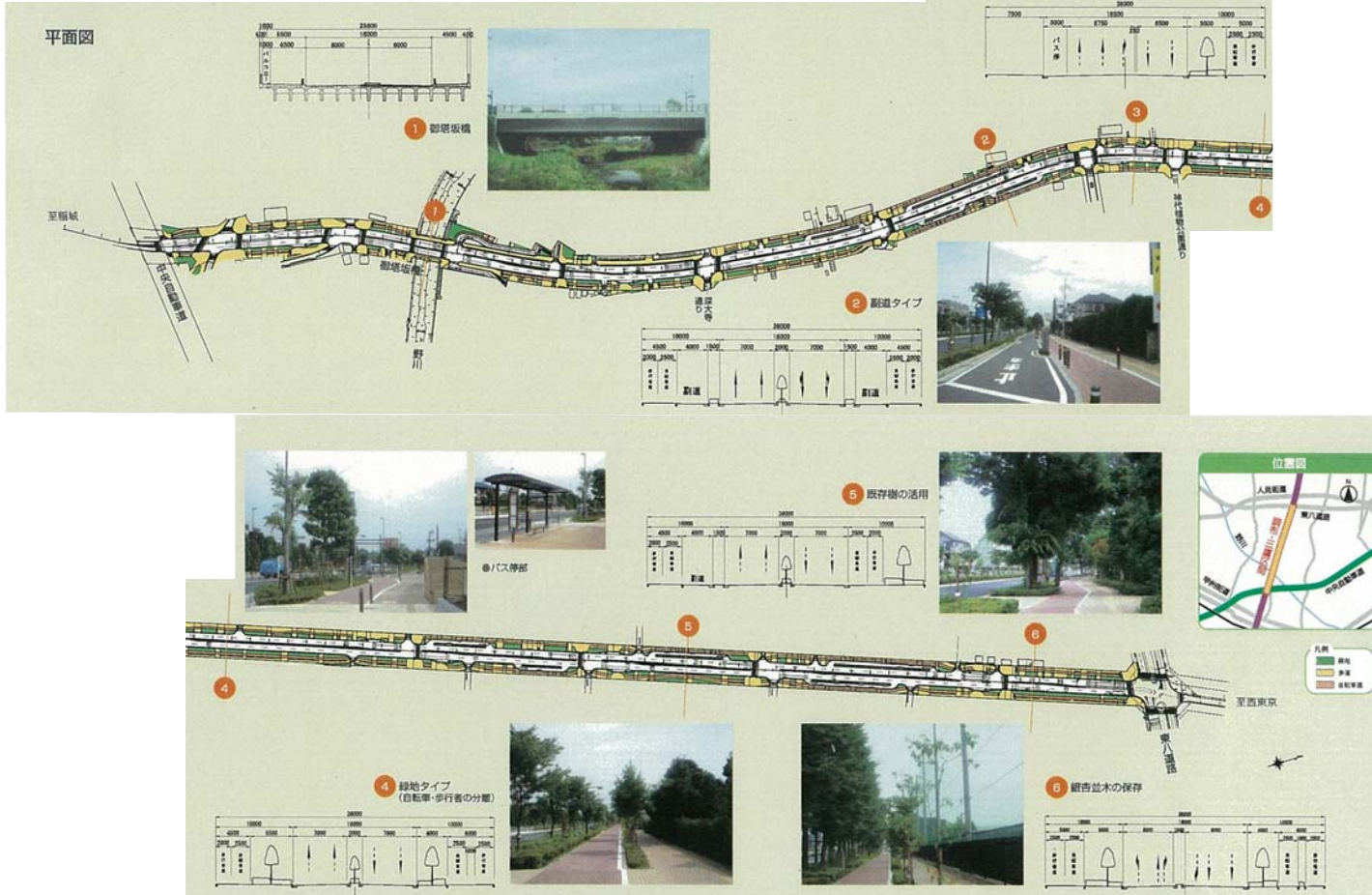
さらに沿道の状況に応じた植樹帯、自転車歩行車道、副道等を組み合わせることで、「緑豊かで快適な歩行者空間」を確保し、景観の向上にも努めた。

事業位置図



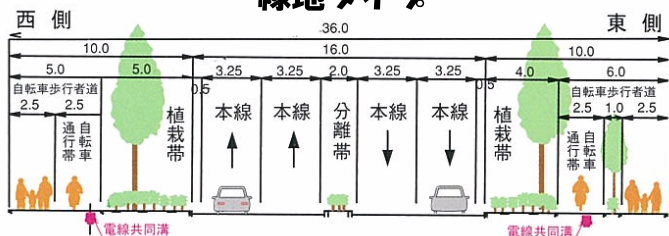
全体図(平面図・断面図)

【調布保谷線 調布区間 2.2km】 平面図



横断図

緑地タイプ



副道タイプ



調布保谷線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 調布都市計画道路3・2・6号 調布保谷線整備事業
 路線名: 調布都市計画道路3・2・6号 調布保谷線
 事業箇所: 東京都調布市富士見町三丁目～三鷹市野崎一丁目
 事業延長: 2,200m(うち約2,000m4車線開放)
 幅員: 36m(車道16m、環境施設帯両側10m)
 総事業費: 約362億円
 事業期間: 平成11年度～平成20年度

○交通量調査結果

供用前 平成19年6月7日実測(調布保谷線)
 平成21年3月24日実測(天文台通り、三鷹通り)
 供用後 平成21年12月6日実測
 ・交通量の推移
 調布保谷線 10,150台⇒12,226台(2,076増)
 天文台通り 11,462台⇒11,136台(326減)
 三鷹通り 11,597台⇒10,509台(1,088減)
 ◎天文台通り、三鷹通りの交通量3～9%の減少

「整備効果」

○旅行速度の向上(東八道路～甲州街道)

調布保谷線 上り: 18.8km/h⇒**24.2km/h** 下り: 10.6km/h⇒**19.1km/h**
 天文台通り 上り: 18.6km/h⇒**22.1km/h** 下り: 19.9km/h⇒**19.1km/h**
 三鷹通り 上り: 21.8km/h⇒**20.8km/h** 下り: 20.3km/h⇒**22.2km/h**
 (天文台通り 下り、三鷹通り 上りが僅かに減少)

○所要時間の短縮(東八道路～甲州街道)

調布保谷線 上り: 9分22秒⇒**7分21秒** 下り: 16分41秒⇒**9分14秒**
 天文台通り 上り: 8分13秒⇒**6分56秒** 下り: 7分41秒⇒**8分2秒**
 三鷹通り 上り: 9分6秒⇒**9分32秒** 下り: 9分46秒⇒**8分58秒**
 (三鷹通り 上りが僅かに増)

「その他の事業効果」

- ・多摩地域の幹線ネットワークの一部を形成
- ・周辺道路の渋滞緩和、自転車ネットワークの一部形成
- ・広幅員の道路整備による防災性の向上
- ・本路線に隣接する神代植物公園及び名所(深大寺)へのアクセス向上及び地域の活性化に寄与
- ・環境施設帯設置に伴う騒音・振動・大気汚染等の軽減及び緑豊かで快適な歩行空間の創出



快適な歩行空間の創出

事業前写真

平成9年10月撮影

御塔坂橋手前より北側を望む



平成9年10月撮影

神代植物公園交差点付近



平成9年10月撮影

御塔坂橋手前交差点付近



深大寺元町3丁目付近



事業後写真

平成21年5月撮影

神代植物公園より北側を望む



平成22年3月撮影

神代植物公園交差点付近



平成22年3月撮影

御塔坂橋手前交差点付近



深大寺元町3丁目付近

